



国指定重要文化財 札幌市時計台

# 時計台の鐘

第 87 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 谷 征 輝

札幌市中央区北1条西2丁目

時計台内

TEL 011-251-5944

## 時計台が正確でなかったころ

副会長 前川 公美夫

いま時計台は、正確に時を刻んでいる。しかし井上清さんが手入れを買って出るまではそうではなかった。さっぽろ文庫『時計台』には井上さんの談話「そのころは、止まっていることが多かったように思います」が載っており（153ページ）、

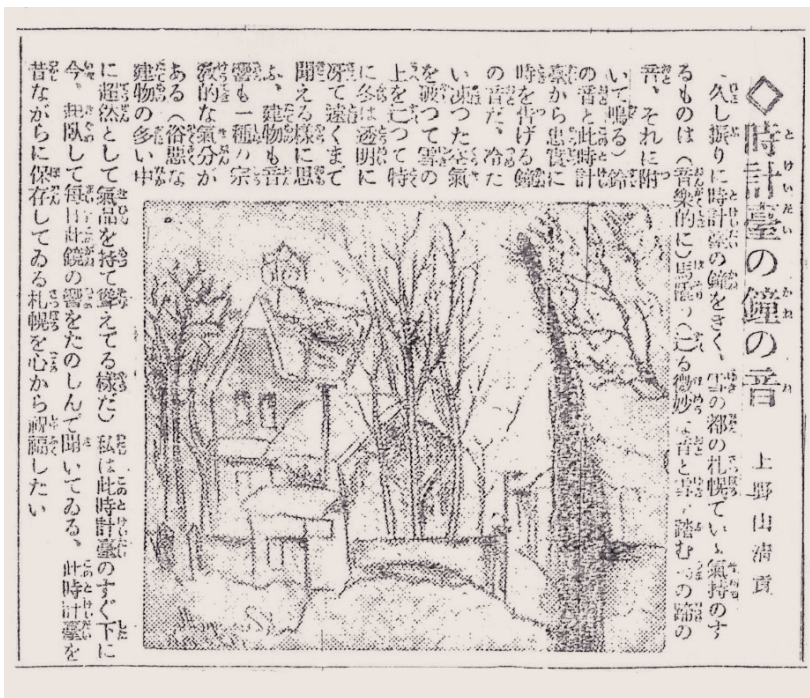
「そのころ」とは井上さんが時計台に近い北二条西二丁目に時計店を開いた昭和三年（一九二八）から時計の維持に当たるようになった八年までの時期を指しているだろう。それより少し前の北海タイムス（現在の北海道新聞）から、時計台の様子が伺える記事を四本紹介する。

まずは投書欄「読者倶楽部」で、「楼上の大時計：近頃其指示する時刻は殆ど正確なる事なく約十分内外の遅速あり：」（大正四年＝一九一五＝四月七日）と指摘されている。

画家上野山清画筆「時計台の鐘の音」では「雪の都の札幌でいゝ気持のするものは：時計台から忠実に時を告げる鐘の音だ：」（大正九年一月二十二日）と遅速はないようだ。

「クマノ目」という止め記事では「時計台の大時計：正確の時間よりも十分乃至十五分も遅早がある：」（大正十一年七月五日）と、再び遅れたり進んだりである。

（4面に続く）



（大正9年1月22日、北海タイムス）

第41回 (令和4年)

時計台まつり記念行事

時計台創建144周年記念式典

10月16日(日)、主催者代表の谷征輝会長挨拶の後、札幌市市民文化局文化部長柏原理様よりご挨拶と秋元克広市長のメッセージを頂戴いたしました。

式典には、札幌市立小学校校長会の三里塚小学校長千葉一博様他、来賓、会員、実行委員会役員等関係者25名の出席をいただきました。児童絵画展中止のため絵画展表彰式は、令和2、3年度に引き続き取りやめとなりました。式典に引き続き、今野博之と今野くるみの夫婦ユニットによる記念演奏会を実施しました。



柏原文化部長



谷会長

記念演奏会

令和2、3年度はコロナ禍により式典当日の1回でしたが、今年度は例年どおり5回実施しました。

申し込み総数 973名、参加者は 419名でした。



ピアノ三重奏の夕べ

- 6月24日(金) ピアノ三重奏の夕べ 辻 千絵 福井岳雄 中川恵美
- 7月29日(金) 琴アンサンブル“セシーリア” 琴による演奏
- 8月26日(金) 札幌ハーモニカ倶楽部 ハーモニカ演奏
- 9月30日(金) 陸上自衛隊北部方面音楽隊 アンサンブルの夕べ
- 10月16日(日) バリトン今野博之とピアノ今野くるみの夫婦ユニット

例年開催されているリボンハウス絵画教室の時計台写生会が6月11日(土)に実施され、参加者全員の作品19点を7月26日(火)から8月15日(月)まで時計台の2階ホールに展示しました。

絵画教室写生会の作品展



札幌ハーモニカ倶楽部



琴アンサンブル“セシーリア”



バリトン今野博之とピアノ今野くるみの夫婦ユニット



陸上自衛隊北部方面音楽隊

# 札幌市時計台来館促進観光事業

— 感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア

令和5年1月31日から2月12

日の期間で札幌市観光需要回復支援事業の一環の、札幌市時計台来館促進観光事業「感動・再発見札幌時計台おもてなしフェア」を札幌時計台コラボレーション

ONLINE、札幌時計台氷雪像&ライトアップショー、来場者プレゼントキャンペーン、フォトコンテストを実施しました。

①札幌時計台コラボレーションLIVE  
抽選により10日間に亘り15ステージを実施しました。

②氷雪像&時計台ルミナリエ  
氷像は東川氷土会による時計台の模型を製作展示、雪と虹のバラードによる光と音で彩られたライトアップショーを実施しました。

③来場者プレゼントキャンペーン  
来館者全員を対象にした抽選会を実施、時計台オリジナルグッズをプレゼントしました。

④フォトコンテスト  
「また行きたい札幌」をテーマに写真を募集、入賞作品等を時計台ホールに展示しました。



フォトコンテスト最優秀賞

よさこいフォルラン  
「恋の街札幌。この言葉がピッタリな場面を切り取ってみました。」



フォトコンテスト優秀賞

川崎陽久  
「時計台で雪が多くびっくりです。」



フォトコンテスト札幌時計台賞

三木有理  
「雪降夜も堂々とした佇まい。雪だるま&時計台。」



フォトコンテスト  
札幌時計台賞



安田美波  
「最初で最後の2人旅行。今度は、3人で来ようね。」



フォトコンテスト札幌時計台賞

Nitto  
「寒さなんて忘れてしまう夜に。」



時計台ライブ



氷彫刻と時計台ルミナリエ

時計台が正確でなかったころ②

「窓をあけて」という連載の一回目では、「朝の六時静かな余韻を残して時計台の鐘が鳴る鐘が鳴る…」(昭和二年三月二十七日夕刊)と、正確なようだ。

時計台は当時、北海道教育会(大正七年からは札幌区教育会)が事務所と図書館として使っていた。時期により時計の正確さに違いがあるのは管理担当者が固定されていなかったことを示しているだろう。几帳面な人に当たれば正しい時を示し、遅早まちまち

当時の担当はそうではない人々だったか。そして井上清さんの尽力は息子の和雄さんに引き継がれ、現在はその教えを受けた館の担当者が管理に当たっている。

ところでラジオがなかった当時(ラジオの開始は東京が大正十四年三月、札幌は昭和三年六月)、時計台も遅速を言う人たちも、正確な時をどうやって把握していたのだろうか。



(昭和2年3月27日、北海タイムスタ刊)

北海道信用金庫ひまわり財団の助成事業に四年連続選定される。

一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団の令和4年度地域の社会福祉法人並びに社会福祉に係る団体・個人に対する助成金の交付団体に4年連続選定され、助成金をいただきました。

令和5年1月13日、北海道信用金庫東札幌支店長佐々木靖様が来館され谷征輝会長が目録を受け取りました。



札幌市時計台構内のプランター花壇の設置、庭園清掃および外来植物調査

令和4年5月22日(日)札幌ライオンズクラブの支援、一般社団法人北海道自然保護協会の協力をいただき、当会役員を含め13名により、プランター花壇18箱設置、庭園清掃、植物調査を実施しました。花壇は8月下旬までの3か月間継続設置しました。



◆さっぽろ時計台の会HPアドレスです。  
<http://sapporotokaidai.sakura.ne.jp>

